



九州北部地方 3か月予報の解説 (7~9月)

令和7年6月24日14時発表
福岡管区気象台予報課

予報のポイント

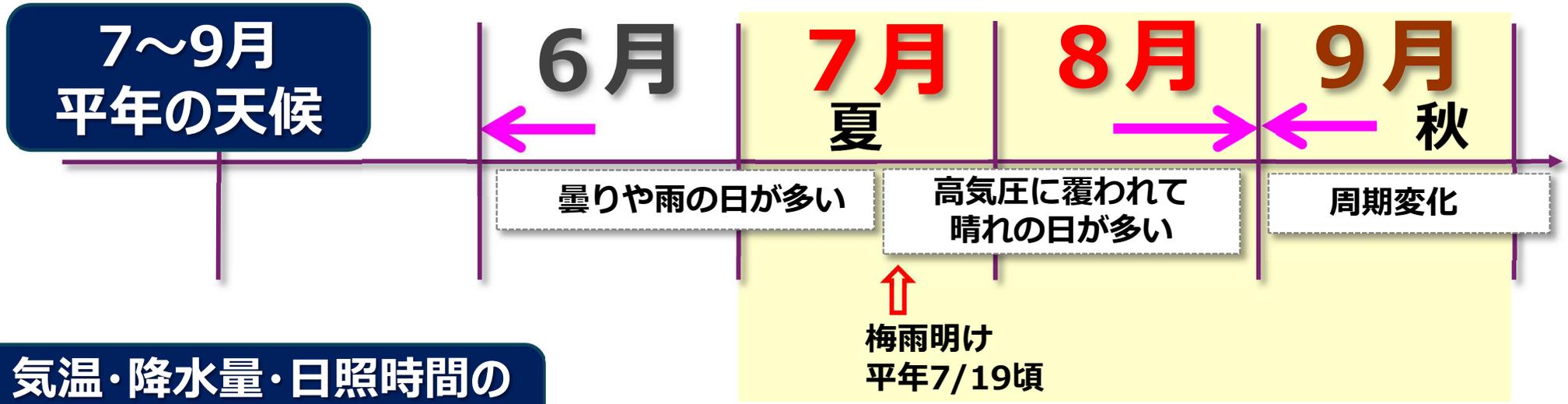
向こう3か月の**気温**は、**暖かい空気**に覆われやすいため、**高い**でしょう。

留意していただきたいこと

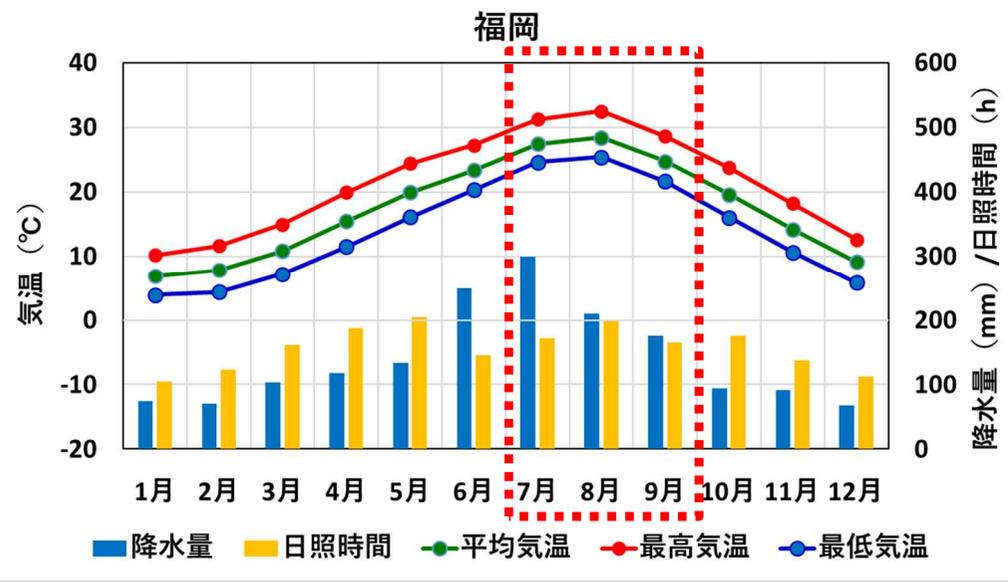
 暖かい空気に覆われやすく、**高温**が見込まれます。9月は太平洋高気圧の後退が遅く、**秋の訪れも遅い**でしょう。十分な**熱中症対策**を。

 近年は大雨の発生頻度は増加しており、大雨に対する備えが必要。また、**湿った空気が流れ込みやすい時期がある**見込み。**台風**の時期を迎えることから、**最新の気象情報に留意**をお願いします。

7～9月の九州北部地方の平年の天候経過



気温・降水量・日照時間の月別の平年値



7～9月のポイント

- ・ 気温は高く、降水量も多い
- ・ 台風の発生数が一番多い (平年の接近数は約3個)

表 台風の発生及び上陸数 (平年値)

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	年間
発生数	0.3	0.3	0.3	0.6	1.0	1.7	3.7	5.7	5.0	3.4	2.2	1.0	25.1
日本上陸数					0.0	0.2	0.6	0.9	1.0	0.3			3.0
九州北部地方接近数				0.0	0.1	0.3	0.8	1.1	1.1	0.4			3.8

九州北部地方の天候の特徴
https://www.data.jma.go.jp/cpd/j_climate/kyuhoku/main.html

台風の統計資料
<https://www.data.jma.go.jp/yoho/typhoon/statistics/index.html>

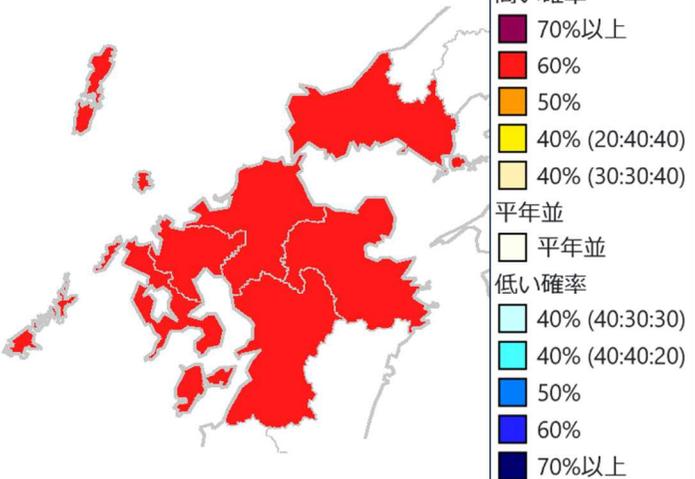
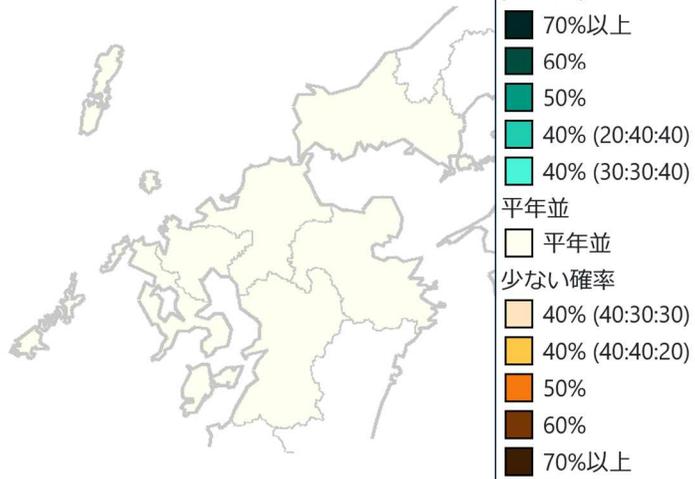
向こう3か月の天候の見通し (7~9月)



予報のポイント

向こう3か月の**気温**は、**暖かい空気**に覆われやすいため、**高い**でしょう。

3か月 (7~9月) の平均気温・降水量

九州北部地方 (山口県を含む)	 平均気温 (3か月) 7 ~ 9 月	 降水量 (3か月) 7 ~ 9 月
		低 10 並 30 高 60 高い 見込み
 数値は予想される 出現確率です	 <ul style="list-style-type: none"> 高い確率 70%以上 60% 50% 40% (20:40:40) 40% (30:30:40) 平年並 □ 平年並 低い確率 40% (40:30:30) 40% (40:40:20) 50% 60% 70%以上 	 <ul style="list-style-type: none"> 多い確率 70%以上 60% 50% 40% (20:40:40) 40% (30:30:40) 平年並 □ 平年並 少ない確率 40% (40:30:30) 40% (40:40:20) 50% 60% 70%以上

向こう3か月の天候の見通し (月別)



	7月	8月	9月
天候	期間の前半は、太平洋高気圧に覆われやすいため、平年に比べ曇りや雨の日が少ないでしょう。期間の後半は、平年と同様に晴れの日が多いでしょう。	平年と同様に晴れの日が多いでしょう。	天気は数日の周期で変わってでしょう。
気温	低 20 並 30 高 50 高い 見込み	低 20 並 30 高 50 高い 見込み	低 20 並 30 高 50 高い 見込み
降水	少 40 並 30 多 30 ほぼ平年並の見込み	少 30 並 30 多 40 ほぼ平年並の見込み	少 30 並 30 多 40 ほぼ平年並の見込み

凡例 気温



降水量

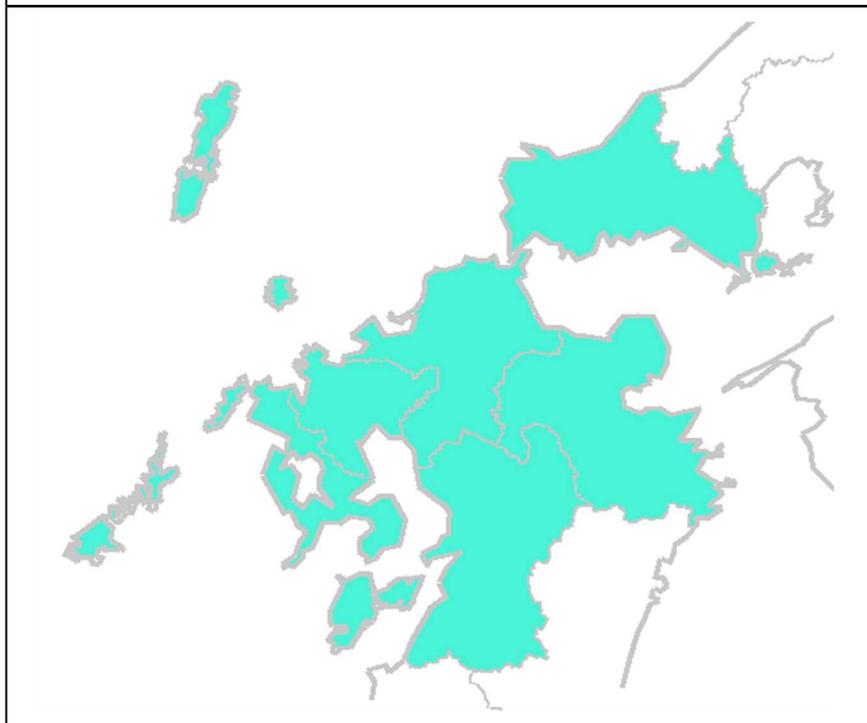


前回予報との変更点

7月の降水量

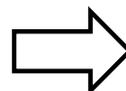
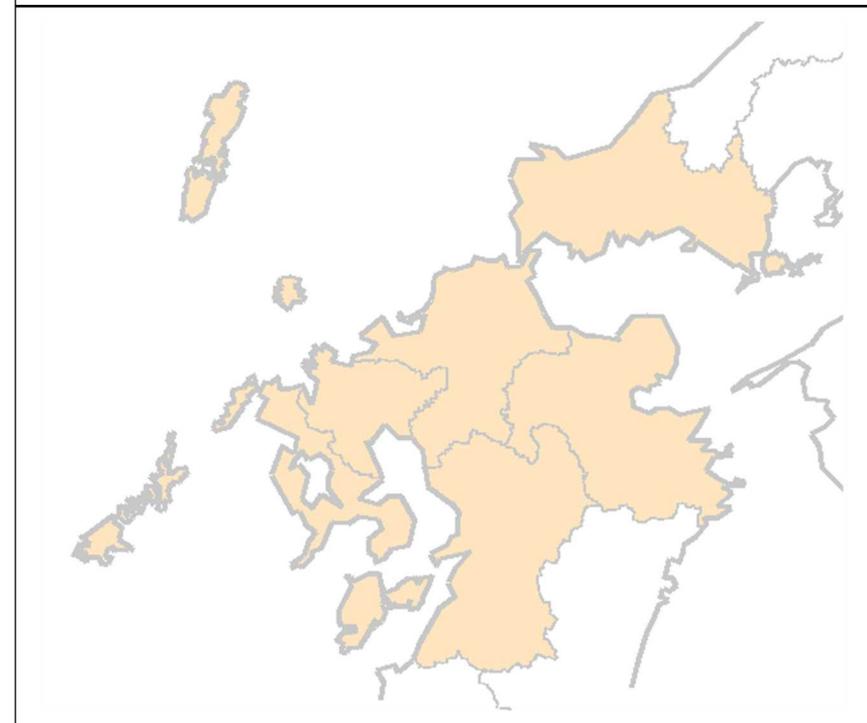
前回

少 30 並 30 多 40
ほぼ平年並 の見込み



今回

少 40 並 30 多 30
ほぼ平年並 の見込み



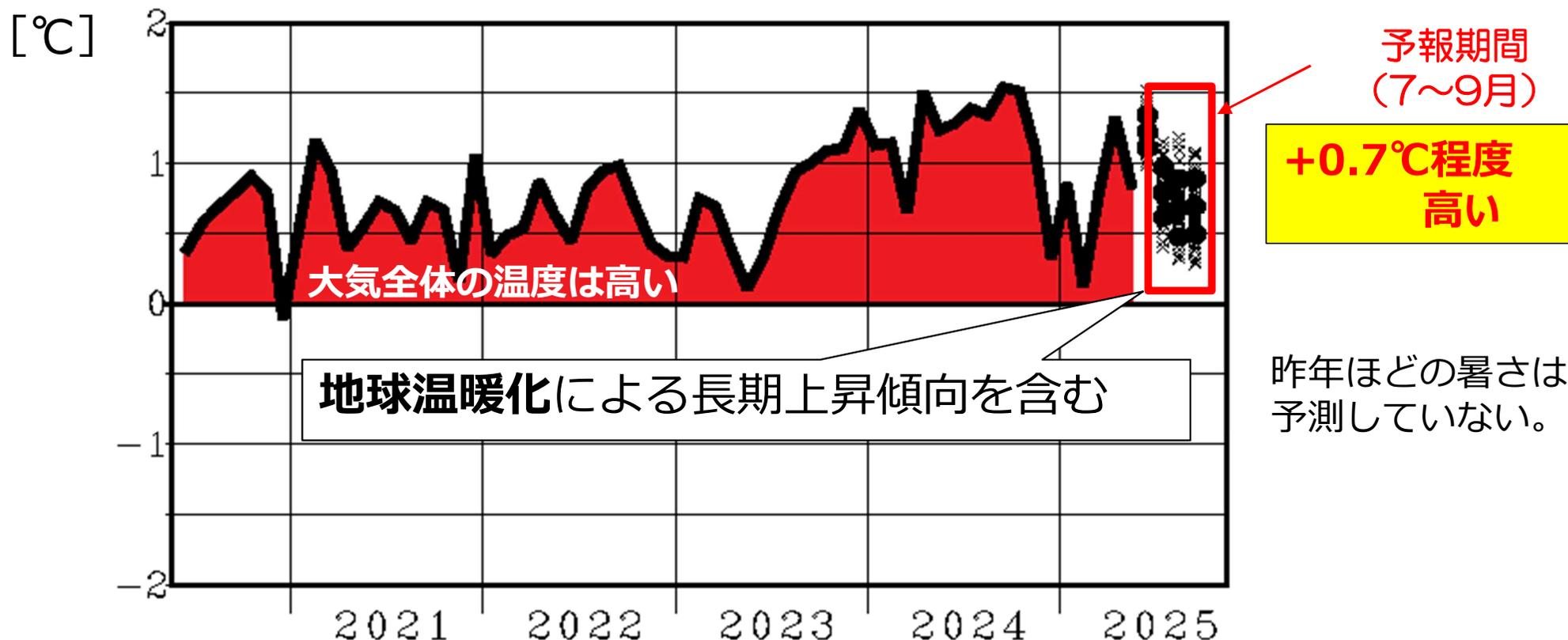
変更理由

最新の3か月予報資料等で、7月の前半は、太平洋高気圧に覆われやすく、曇りや雨の日は少ない予想に変わったため、**少雨**側に変更

今回の予報の根拠① 大気全体の気温が高い



大気全体の温度が平年より高く、
北半球中緯度でも高い状態が継続



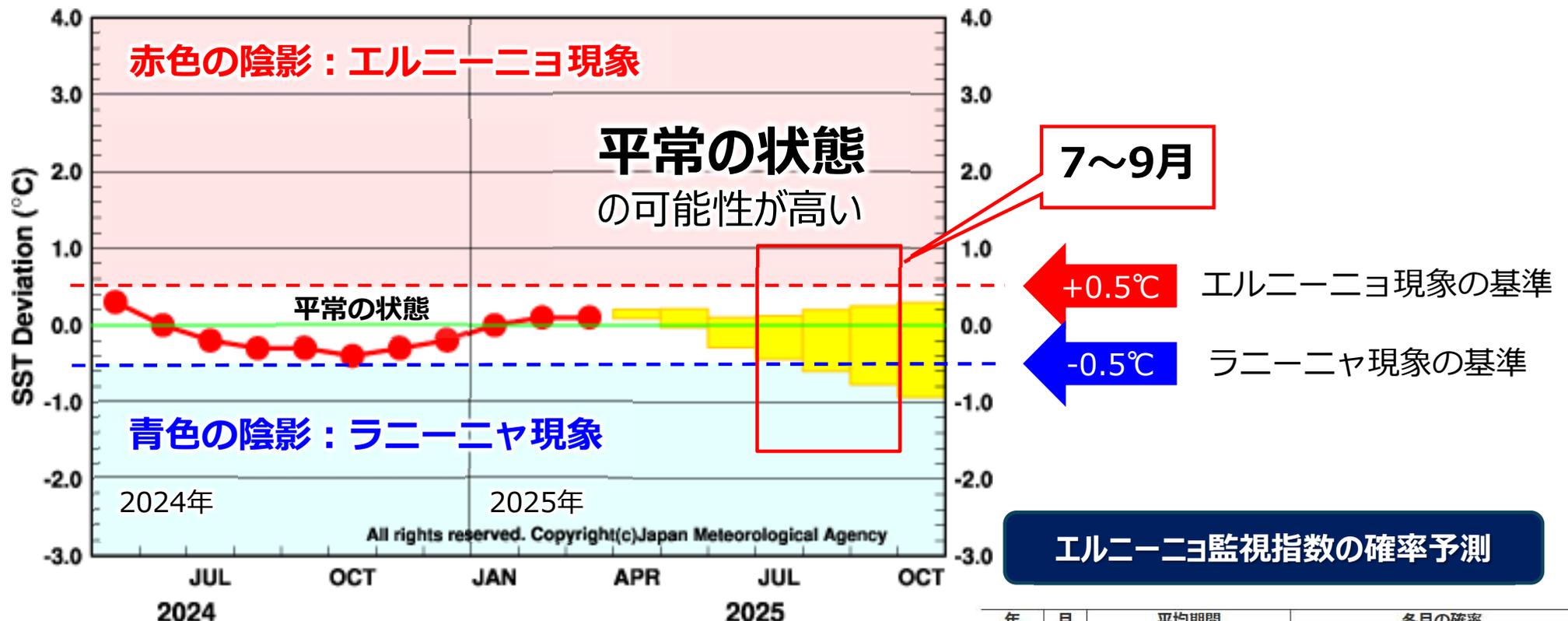
北半球中緯度 (北緯30~50度)
対流圏 (高さ約1500~10000m) の温度の平年からの差
実線は実況、ボックス部分は数値予報による予測

現在の平年値の期間 1991~2020年

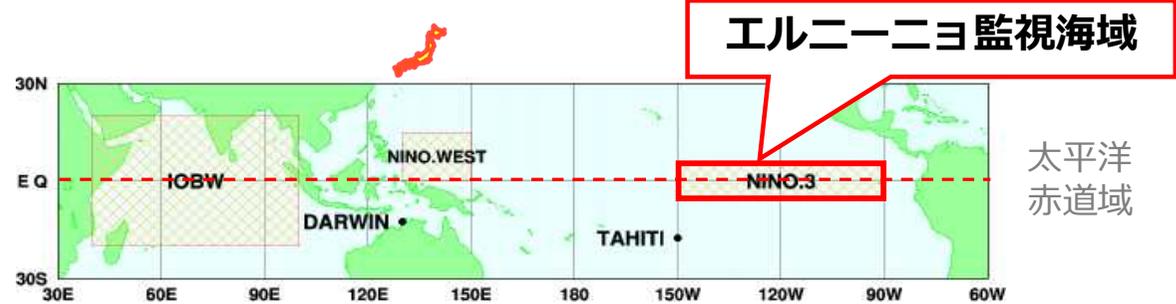
今回の予報の根拠② エルニーニョ・ラニーニャ現象



- エルニーニョ現象もラニーニャ現象も発生していない平常の状態。
- 今後、秋にかけて平常の状態が続く可能性が高い（60%）。



エルニーニョ監視海域の海面水温の基準値との差（実況と予測）
（※5か月移動平均）

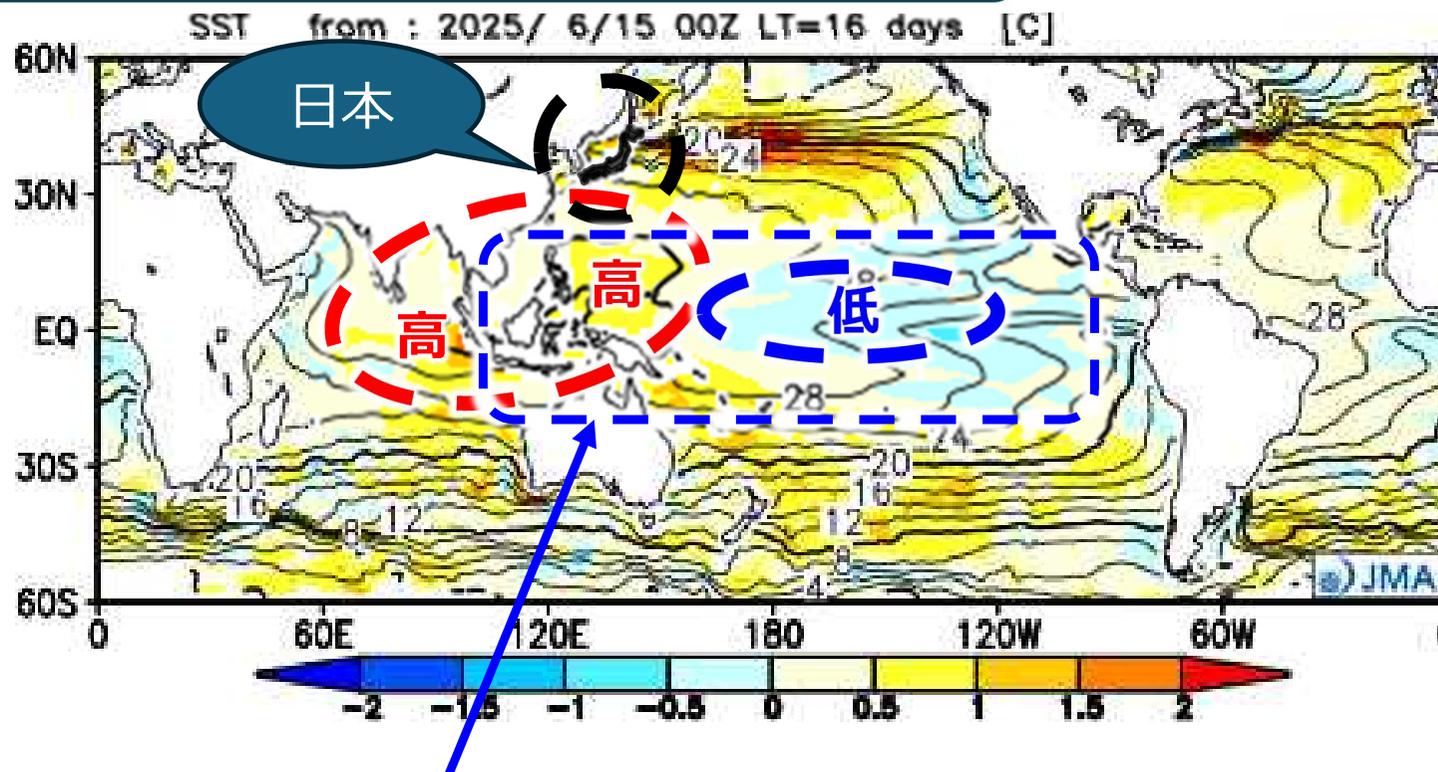


エルニーニョ監視指数の確率予測

年	月	平均期間	各月の確率
2025年	4月	2025年2月～2025年6月	100
	5月	2025年3月～2025年7月	100
	6月	2025年4月～2025年8月	100
	7月	2025年5月～2025年9月	10 (High) 80 (Normal) 10 (Low)
	8月	2025年6月～2025年10月	10 (High) 80 (Normal) 10 (Low)
	9月	2025年7月～2025年11月	10 (High) 70 (Normal) 20 (Low)
	10月	2025年8月～2025年12月	10 (High) 60 (Normal) 30 (Low)

■高い ■平常 ■低い

3か月（7～9月）の海面水温（予測）



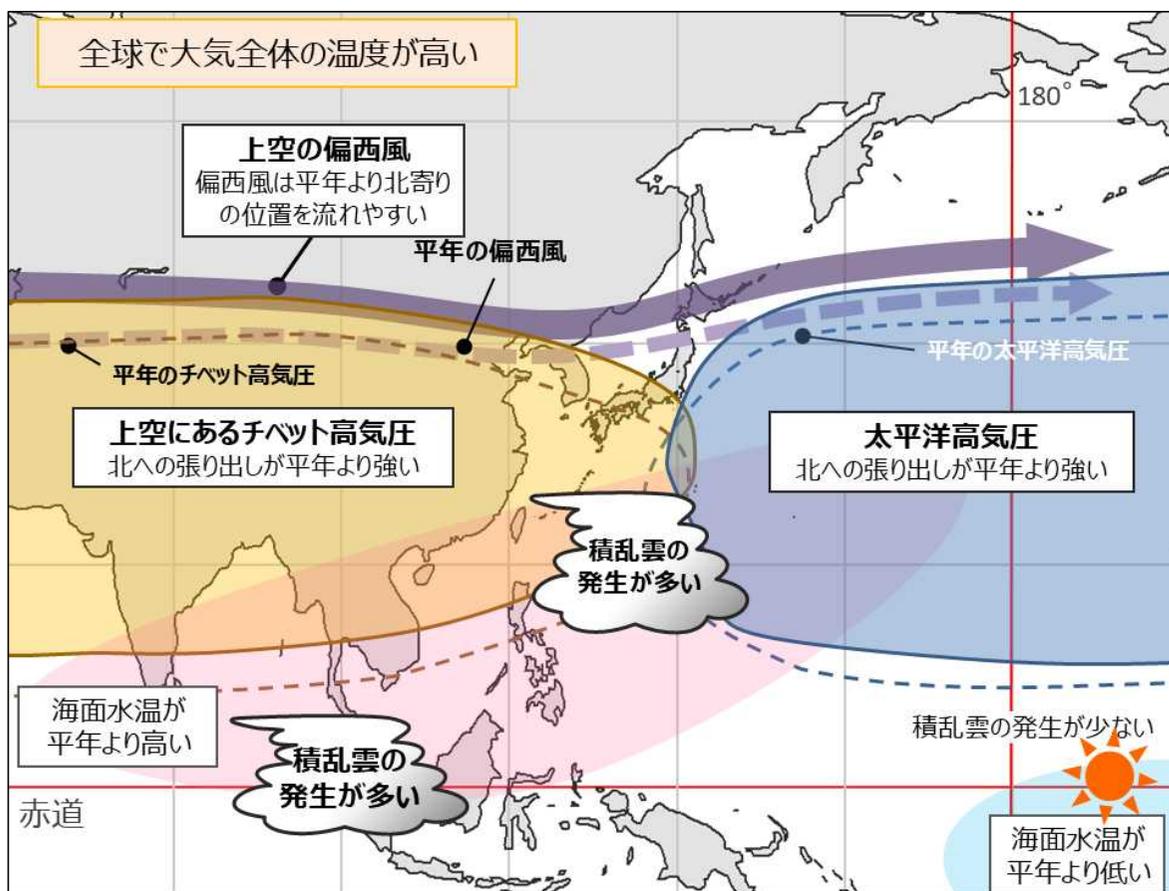
太平洋赤道域の西部で**高く**、中部～東部で**低い**

ラニーニャ現象に近い海面水温分布

インド洋東部～フィリピンの東方海上でも**高い**。

高温域が、フィリピンの東方海上ではやや北に偏って分布する予測。

7～9月の予想される海洋と大気の特徴



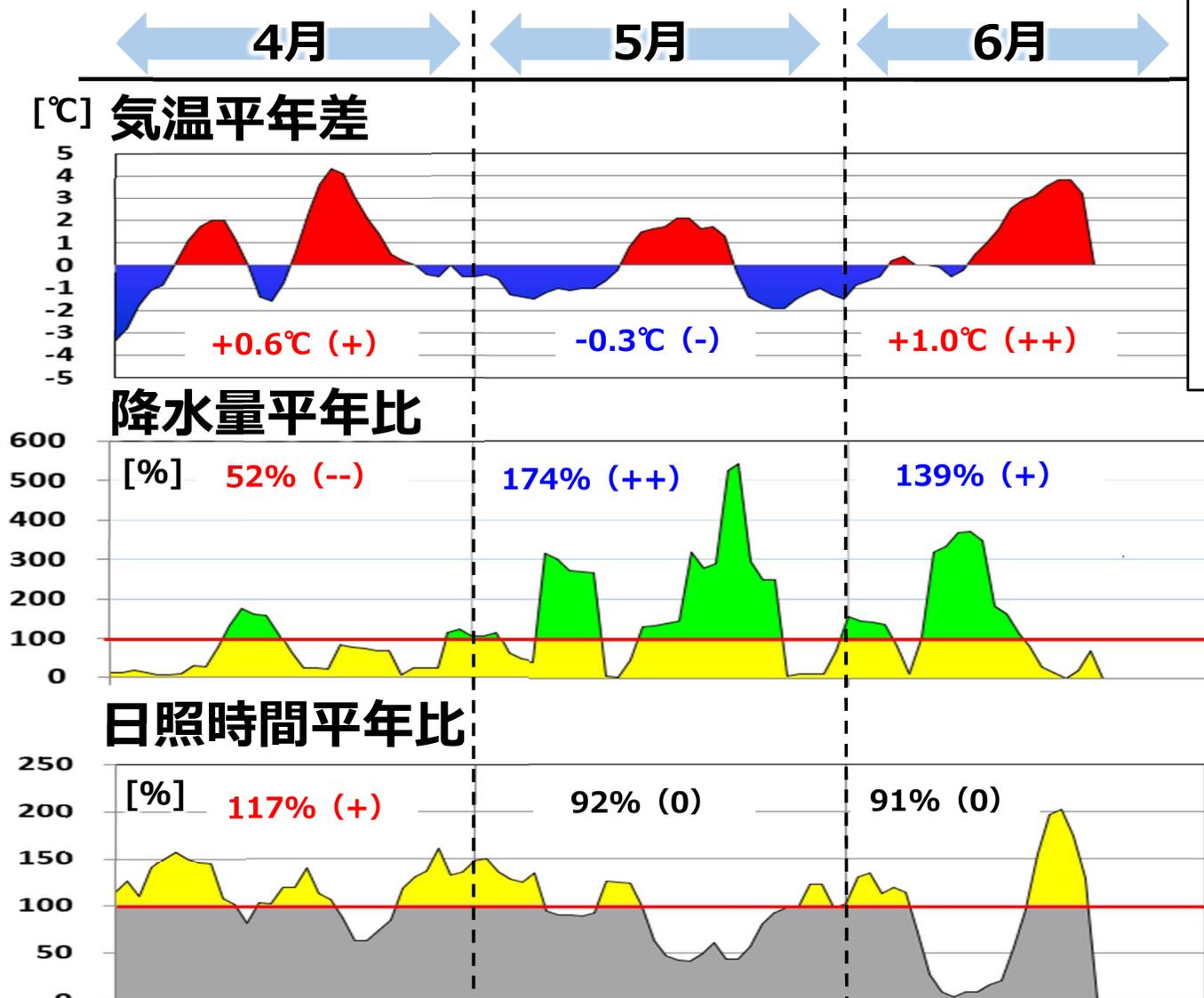
- 地球温暖化の影響等により、地球全体で大気の色度が**高い**。
- 上空の偏西風**は、平年より北寄りの位置を流れやすい。
- チベット高気圧**は、北への張り出しが平年より強い。
- 太平洋高気圧**は、北への張り出しが平年より強い。
- 日本付近は、**暖かい空気**に覆われやすい。

- ✓ 8～9月は湿った空気の影響を受ける時期がある。
- ✓ 秋の訪れは遅い。

(より詳しく)

- 海面水温は、太平洋赤道域の中部では低い一方、インド洋東部～フィリピンの東方海上にかけて海面水温が高い。このため、積乱雲の発生は、インド洋東部～フィリピンの東方海上にかけて多く、太平洋中部の熱帯域では少ない。
- これらの影響により、上空の偏西風は、平年より北寄りの位置を流れ、チベット高気圧は、北への張り出しが平年より強い。また、太平洋高気圧は、北への張り出しが平年より強い。
- このため、九州北部地方は、暖かい空気に覆われやすい。

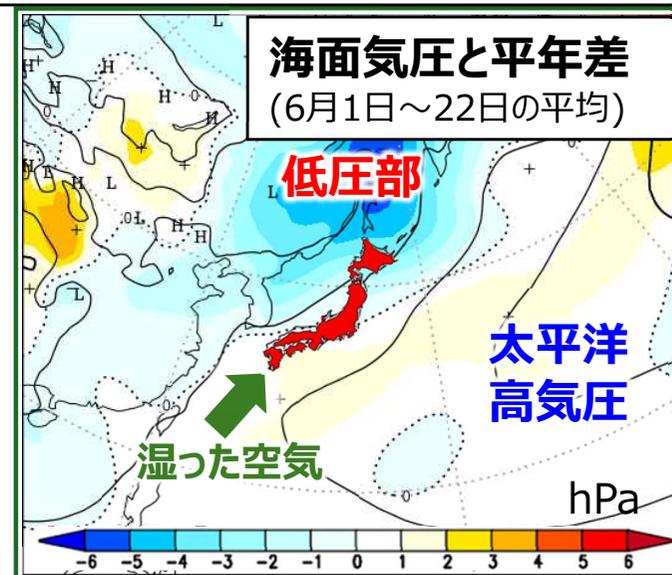
九州北部地方の天候経過 (4~6月)



(6月の天気概況)

上旬：前半は晴れの日が多かったが、その後は前線や湿った空気の影響で曇りや雨の日が多かった。また、九州北部地方は、6月8日頃に梅雨入りしたとみられる。

中旬：期間のはじめは、梅雨前線や湿った空気の影響で曇りや雨の日が多かった。その後は太平洋高気圧の張り出しが強まり、晴れて気温がかなり高くなり、猛暑日となった所もあった。



中国東北区~サハリン付近は低圧部となった。また、太平洋高気圧の西への張り出しが強かった。

このため、東日本日本海側と西日本では高気圧の縁辺を回る湿った空気が流れ込みやすかった。

数値は月平年差 (比) ・ 階級区分値

6月の値は20日までの暫定値

グラフは5日移動平均値でプロット

階級区分値

- (++) : かなり高い/かなり多い
- (+) : 高い/多い
- (0) : 平年並
- (-) : 低い/少ない
- (--) : かなり低い/かなり少ない

予報のポイント

向こう3か月の**気温**は、**暖かい空気に覆われやすい**ため、**高い**でしょう。

留意していただきたいこと

 暖かい空気に覆われやすく、**高温**が見込まれます。9月は太平洋高気圧の後退が遅く、**秋の訪れも遅い**でしょう。十分な**熱中症対策**を。

 近年は大雨の発生頻度は増加しており、大雨に対する備えが必要。また、**湿った空気が流れ込みやすい時期がある**見込み。**台風**の時期を迎えることから、**最新の気象情報に留意**をお願いします。

次回の3か月予報(8~10月)の発表日は、7月22日(火)です

*原則として毎月19~25日の間の火曜日が発表日です

季節予報に関するお問い合わせ先

福岡管区気象台予報課 (092-725-3604)